

# ふじみ野

市議会だより

No.34

H26.8.1 発行

埼玉県ふじみ野市議会

## CONTENTS

みんなでつくる協働のまち 自治基本条例制定 2p

定期巡回・随時対応型介護看護サービス

安全・安心なまちづくり 商店街防犯カメラ設置

議会新人事・第3回 議会報告会 3p

市政を問う! 一般質問 16人が政策論議 4p



働く人シリーズ⑬

木のおもちゃ工房

世界に一つしかない「木のおもちゃ」で、誰かと誰かをつなぎたい。木のぬくもりよ、みんなをつなげ!

関連記事: 10ページ

# 議案審議

## 条例制定 全員賛成で可決

### 自治基本条例 みんなで作る 協働のまち

地方分権化を背景に、地方公共団体が自己決定・自己責任に基づき市政を行っていく上で、市民・市議会・行政が協働し、地域課題の解決につなげ、豊かな地域社会の実現のため、自治の基本理念や原則を定めた条例です。

本会議・各常任委員会での質疑・討論をまとめています。

#### ●主な質疑

問 条例の位置づけは、本条例は他の条例に

対して優位性を持つものではなく、市民との協働によるまちづくりを実現するための、自治の基本となる理念条例である。

問 市民の定義は、条例中の「市民」には、市内に住所のある個人、就労または就学している個人、及び市内で事業その他の活動をしてい

#### ●主な意見

・今議会のみでの審議ではなく、継続審査も検討すべき。

・「市民」の定義や他の条例との整合性について、今後も議論を深めていくべき。

る個人・団体が含まれる。

## 平成26年度一般会計補正予算 全員賛成で可決

### 定期巡回・随時対応型介護看護サービス

定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所開所補助金 補正額：1029万円

このサービスは地域包括ケアプランとして厚生労働省が始めたもので、在宅での生活を続けられるように考えられています。

#### ●主な質疑

問 24時間対応の施設は大変重要だと思うが、安定的な運営のための考えはあるか。

答 昨年オープンしたサービスつき高齢者向け住宅に併

設けて開所予定だが、今後はアンケート調査を踏まえ整備計画に盛り込んでいく。

問 夜間の体制に職員の配置はあるのか。

答 総勢8名を予定していない。

### 安全・安心なまちづくり

#### 商店街防犯カメラ設置

安全・安心に配慮した、身近で快適な商店街づくりを目指し、商店街の振興及び活性化を図るため、商店会への防犯カメラの設置に対して補助を行います。

#### ●主な質疑

問 どの商店会に何台設置するのか。

答 今回の補正では、上福岡銀座商店会に8台、一番

街商店会に15台、八雲通り商店会に12台、上福岡西口商店会に14台、みほの商店会に6台設置する。

問 商店会に対する補助金の

内容は、消費税を除く事業費の3分の2が国の補助で、3分の1が市の補助である。

補正額：518万6千円

◆議案に対する質疑 誠風会山田 敏夫議員 信政会西 和彦議員 公明党田村 法子議員 日本共産党 足立志津子議員

## 5/10 第3回 議会報告会 会場：ゆめぼると

### 議会の中身、お見せします

議会は、原則として公開されており、傍聴が可能です。しかし、

平日の日中では傍聴に行けない

専門用語が多くて分かりづらい

傍聴人は意見を述べたり、質問したりできない

議会報告会は、このような声にお応えするものです。

5月10日に開催された議会報告会は、53名の参加者を迎え、2部制で開催されました。第1部では、議会運営委員会を初め、総務、市民・都市、福祉・教育の3常任委員会から議会運営や審査内容について報告しました。第2部は、「地域防災を考える」をテーマにした意見交換会を行いました。市議会の各会派代表者や参加者から活発な意見が交わされました。



### 提出議案と審議結果

- 専決処分の承認
  - 固定資産評価員の選任
  - 市税条例の一部改正
  - 都市計画税条例の一部改正
  - 国民健康保険条例の一部改正
  - 平成26年度補正予算
  - 一般会計（第1号）
  - 一般会計（第2号）
  - 条例の制定
  - 自治基本条例
  - 元気・健康づくり推進市民会議条例
  - 特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例
  - 市税条例等
  - その他
  - 道路線の認定（4件）
  - (旧)大井清掃センター解体・土壌改良工事請負変更契約の締結
  - 葦原中学校校舎大規模改造工事請負契約の締結
- 以上、可決
- 意見書
- 「手話言語法（仮称）」制定を求める意見書
  - ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書
  - ベビーシッターに関する法整備を求める意見書
  - 子ども・被災者生活支援法に基づく具体的施策の早期実施を求める意見書
  - 集団的自衛権の行使に関する憲法解釈を変更することに反対する意見書
  - 消費税増税の中止を求める意見書
- 以上、否決
- 請願
- 「手話言語法（仮称）」制定を求める意見書の提出を求める請願
- 以上、可決
- 請願第1号の内容は、手話が音声言語と対等な言語であることを国民に広め、更には普及、研究することのできる環境整備のための「手話言語法（仮称）」の制定を求める意見書の国への提出を市議会に求めたものです。

# 議会新人事



議長 大築 守 副議長 民部 佳代

私どもは、6月2日の定例会におきまして、議長、副議長に就任いたしました。身に余る光栄と同時にその責務の重大さを改めて痛感しております。

地方分権の進展に伴い、市民の代表としての意思決定機関である議会の果たす役割は、ますます重要になってくるものと思えます。

私たち市議会は、従来の慣例にとらわれることなく、より一層の創意工夫と努力を積み重ね、諸課題の解決に全力を尽くしてまいります。

市民の皆さまの、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

◎委員長 ○副委員長

### 総務常任委員会

- ◎岸川 彌生 ○島田 典朗
- 小林 憲人 ○有山 茂
- 民部 佳代 ○新井 光男
- 小高 時男

### 市民・都市常任委員会

- ◎伊藤美枝子 ○仙田 定
- 大築 守 田村 法子
- 福村 光泰 ○五十嵐 正明
- 足立志津子

### 福祉・教育常任委員会

- ◎鈴木啓太郎 ○山田 敏夫
- 谷 新一 ○西 和彦
- 伊藤 初美 堀口 修一
- 塚越 洋一

### 議会運営委員会

- ◎小高 時男 ○西 和彦
- 山田 敏夫 ○有山 茂
- 田村 法子 ○五十嵐 正明
- 塚越 洋一

※議会広報常任委員会は裏表紙をご覧ください。

# 市政を問う！ 一般質問

## 豊かなふるさとを

…総合政策

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市の考えを問うものです。今回の議会では、16人の議員が一般質問を行いました。掲載した内容は各議員本人が要約したものです。なお、全ての質問と回答は市議会ホームページの会議録で閲覧できます。(8月下旬掲載予定)

### 衛生組合と消防組合の組織統合を

仙田 定議員

問 組織統合による影響と考え方は。

答 衛生組合では、葬祭場は指定管理者制度による運営をしているが、し尿処理についても今後、民間活力を導入することにコスト削減が可能と考えられる。さらに、消防組合との統合は、管理部門の人員費の削減や事務の統一化による事務費削減の効果が期待できると考える。本市市長をはじめ、構成団体の首長間においては組織統合の考え方は共有しているが、それぞれの組合の議会の協議や、構成団

体の調整が必要となる。

### 起業するならふじみ野

民部佳代議員

問 環境経済部が新設された。新しい体制で企業誘致だけでなく、起業支援を行うて起業したい人を市外から呼び込む努力を。

答 「起業するならふじみ野」を目指して、今後は起業家の立場になって戦略的な取り組みを検討する。

### 手話言語条例

堀口修一議員

問 国・県に先駆け、手話言語条例の制定を。

答 手話に対する理解の広がりを目指し、地域で

安心して暮らせるまちづくりを実現する上で有効と認識している。研究したい。

問 市職員への手話研修を。

答 職員が挨拶などではできるように、実施する方向で検討する。

問 ICTによる遠隔手話通訳サービスへの取り組みを。

答 気軽に持ち運びできるタブレット端末を利用しての手話通訳サービスは、大変便利な手段と考えており、検討していく。

### 番号法の施行

西 和彦議員

問 平成27年の後半から国民の一人一人に個人番

は、増額も考えて検討を。費用対効果を考え、バス会社の提案を受けながら検討中。

### 市立図書館は直営堅持

足立志津子議員

問 本市の図書館協議会は直営で行うよう答申し、2500名を超える市民からも直営堅持を求める要望が出されている。それにもかかわらず、指定管理者制度の導入を進めるのはなぜか。

答 少子高齢化に伴う福祉・保健事業などの増大分をまかなうため、現状の事業を見直し、予算配分していかねばならない。公共施設適正配置計画でも方向性が示されており、導入により更なるサービス向上を図る。

問 教育委員会では、いつ指定管理者による運営を決定したのか。

答 正式には決定しておらず、条例改正などをしていく中で、委員に報告し意見を伺う。

### 郷土愛の醸成

島田典朗議員

問 伝統音楽の指導の状況は。

答 学習指導要領に基づき、お囃子など地域の楽曲を音楽の教材に取り入れるなどを行っている。今後もお囃子など地域の協力を得ながら郷土の伝統文化を学ぶよう努め、郷土愛を育てていく。

### ふじみ野ふるさと展

堀口修一議員

問 合併10周年記念事業として「ふじみ野ふるさと展」の開催を。

答 本市をテーマにした写真コンテストや絵画展を新たに企画するなど、これまで以上に郷土の存在を強くアピールし開催していく。

## 都市の安全・安心

…まちづくり

### 給食センター用地の活用

山田敏夫議員

問 上福岡学校給食センター廃止後の用地(国有地)の活用は。

答 地区計画での土地利用方針では、「公共施設を中心とする土地利用を図る」とされている。慎重に検討していきたい。

### 余熱利用施設「エコパ」の管理・運営

西 和彦議員

問 子どもから高齢者ま

でが楽しめる施設としての安全・安心のための配慮は。

答 施設を管理する指定管理者と緊急時対応、衛生環境保持、プール管理体制等について、詳細な「運営業務実施計画書」等を取り交わし、市が求めるサービス水準の履行と安全確保を図っていく。

また、長期的運営からくる施設管理の慢性化防止についても対応していく。

### ベランダdeタマー

堀口修一議員

問 雨水利用推進法が施行された。雨水を流すから貯めるという発想に変え、利用を進めていくべき。公共施設での啓発と家庭用貯留槽「ベランダdeタマー」の開発を。

答 現在、大井総合支所やフクトピアなど4施設で雨水の利用をしており、今後も雨水の活用を推進に努めていく。

### 自転車事故防止の徹底した安全対策

岸川彌生議員

問 本市は、県内の交通事故死者数に占める自転車事故死者数の割合がワースト1位だった。自転車事故防止のため、自転車安全条例の制定を。

答 埼玉県の自転車に関する条例で自転車利用者

## 一般質問

### 0-157の予防対策

岸川彌生議員

問 0-157の感染

問 昨年10月の市報ふじみ野に、地元野菜を活用したレシピが紹介された。よい企画なのでシリーズ化を。

答 市報やホームページ上で、定期的に掲載していくことを検討する。

### 地元野菜を活用し食育の推進を

小林憲人議員

問 本庁舎と大井総合支所で定期的に開催される「採れたてふじみ野畑」

者が拡大している。対策が必要である。予防に対する正しい知識を。

答 感染予防のために、生肉が触れたまな板、包丁、食器等は熱湯で十分に消毒するなど改めて再度確認し徹底していく。トイレ等に手洗いの仕方の写真を張る、また、手洗いダンスについては研究していく。

### 財政拡充も考え循環バス運行の改善を

足立志津子議員

問 循環バス運行改善



余熱利用施設「エコパ」



本庁舎と大井総合支所で定期的に開催される「採れたてふじみ野畑」



おい祭りのお囃子

の責務として定めた「反射板の装着」があるので、街頭活動での啓発品として配布し、交通事故の抑制効果を検証するなどして、市としての独自性を出すことができるか検討する。

公共交通完備白地域への対応を

伊藤美枝子議員

問 市内循環バスの基礎アンケート調査から1年以上が経過している。路線バスが廃止された地域は市民生活に多大な影響を及ぼしており、早急な対応が必要。進捗状況は。

交通量増加に伴い安全対策を

伊藤美枝子議員

問 環境センターの余熱

答 一定規模の乗客が見込めるエリアは、民間バス路線の参入なども視野に入れて市全体の利便性向上につながる方法を検討し、公共交通として使いやすいシステムを構築していきたい。

東部地域に民間バス路線の新設を

谷 新一議員

問 東部地域への民間バ



エコパから見る「さぎの森小学校」

水宮地域などの浸水対策を

足立志津子議員

問 水宮地域などの浸水対策で、本格的なポンプや遊水池確保の具体化は。

公民館・分館の存続を

新井光男議員

問 分館には、教育機関としての位置づけがあるので、少子高齢化に対応する分館事業の充実をすべきだ。

木造住宅密集地域の火災延焼防止対策

塚越洋一議員

問 木造住宅密集地域の火災延焼防止対策を。

答 木造非木造分布図・不燃領域図・消防水利図が10月末ごろまでに完成する予定。

感震ブレイカーの設置補助

足立志津子議員

問 地震時の電気関係防火に有効な「感震ブレイカー」に設置補助を。

答 課題があり補助実施の予定はないが、市報の防災特集や市ホームページで器具について啓発したい。

東武東上線の高架または地下化を

谷 新一議員

問 東武東上線を高架または地下化にし、踏切そのものをなくす連続立体交差化の考えは。

答 円滑な交通や安全対策に大きな効果はあるが、大事業であり、県や

三芳町境の西原住宅交差点の安全対策

伊藤初美議員

問 三芳町と協議し、交差点の改良ができないか。

答 信号機を両面信号機に変え注意喚起の看板を設置した。三芳町では、

市民と行政の協働推進を

…危機管理

消防団の活動支援を

島田典朗議員

問 消防団等充実強化法では、市に対し、市職員

答 大規模災害時、市職員は市の非常時体制の一員ともなる。加入促進を進めると同時に、非常時における取り扱いを検討していく。

消防団の処遇改善と装備の充実

西 和彦議員

問 消防団支援のための消防団員の報酬等見直しや、装備の充実・改善についての考えは。

答 今後も消防団員の処遇が活動に適正なものか検討して、改善に引き続き努めていく。また、装備については、計画的に対応していく。

火災警報器で安全・安心を

島田典朗議員

問 単身高齢者などと隣近所に、無線連動機能を持つ住宅用火災警報器を設置し、共助へ生かせないか。

答 近隣での合意が得られれば、有効なものであると考える。

問 空き家と近隣住宅を無線で連動させ、空き家を管理しては。答 管理不全の空き家は、近隣住民との相隣関係からも難しい状況にあると考える。

活発な市民活動

鈴木啓太郎議員

問 市民活動支援センターの利用者が増え、活動が活性化している。評価は。

答 利用団体が130団体に増加しており、コーディネートによる相談、情報提供や団体間のネットワークの構築などが行われている。今後は、市民活動団体の自主性を尊重しつつ、協働のまちづくりを進めたい。

発掘・育成からその先を目指して

小林憲人議員

問 ボランティア人材の発掘・育成だけではなく、活躍面を意識した仕組みづくりを。

答 本市には、さまざまな形で知恵や経験を発揮できる方々がいる。市民力を最大限に発揮できる仕組みづくりを研究したい。

市民をパートナーとして

鈴木啓太郎議員

問 未来政策会議が旧福岡高校の利用について検討を行い、3月に提言を

答 国からガイドラインが示される予定になっており、NPOやボランティア等の活用と「地域包括ケアシステム」を構

いつまでも暮らしやすいまち

…福祉

地域支援事業に移行されるが、その対策は。

高齢者が自分らしく暮らすために

小林憲人議員

問 ケアプランを自ら作

問 介護保険制度の見直しへの対策

山田敏夫議員

問 介護保険制度の見直しで、要支援者向けの通所介護・訪問介護が市の



消防団の大会



ケアプランの相談風景

成するマイケアプランを推進する動きがあり、厚生労働省からも支援するよう通達が出ている。取り組みは。

**答** 昨年度、自己作成した方が1名いたが、マイケアプランを視野に入れない方が多い。被保険者の動向や近隣の状況等を注視していきたい。

**ステッカーで高齢者に声掛けを**

**民部佳代議員**

**問** 高齢者が徘徊していても、外見から判断できない。靴のかかとに貼る反射式ステッカーを高齢

者に配り、周囲の声掛けを促してはどうか。

**答** 市内事業者の協力で、心配な高齢者を見かけたら市に連絡する「ふじみん見守りネット」を開始した。ステッカーは参考となる提言なので検討したい。

**高齢者に対する踏切事故の安全対策**

**岸川彌生議員**

**問** 高齢者が踏切を渡りきれずに電車にはねられてしまう事故が多発している。踏切にボランティアの見守り員を配置するなどの安全対策を。

**答** 交通安全運動での街頭活動や、高齢者の安全教育の場で踏切の安全な渡り方などを啓発するとともに、見守り員についてはシルバー人材センターと協議する。

**24時間高齢者緊急連絡システムの改善**

**新井光男議員**

**問** 高齢者が安心して生活できるように、防犯ベルの配布、民間システムへの補助を。

**答** 防犯ベルや民間システムへの補助は、現在の消防組合直通方式を実施していく中で先進事例を調査・研究したい。

**孤立死対策**

**五十嵐正明議員**

**問** 市営住宅内の安否確認と見守り対策強化は。

**答** 平成20年度から3年度までに、残念ながら4件あった。孤立死対策の基本的な考え方としては、近隣住民や自治会などによる「地域における支え合い活動」の活性化

と、25年度よりスタートした「高齢者見守りネットワーク事業」による事業者との連携を含めた見守り体制を強化し、情報の共有化を図る。

**がん患者の総合的な相談体制**

**民部佳代議員**

**問** がん患者や家族の悩みは治療以外に経済的問題、通院や家事のサポートなど多岐にわたる。障害年金や介護保険、有償ボランティアなどの制度はあるが、情報がなければ支援も受けられない。総合的な相談窓口が必要ではないか。

**答** 多岐にわたる生活支援の相談体制を整えるため、市民総合相談窓口の設置と福祉総合相談体制構築の検討を進めている。

**地域包括支援センターの充実**

**塚越洋一議員**

**問** 第6期介護保険計画について、低所得者の負担軽減を。地域包括支援センターの充実を図っては。

**答** 可能な限り被保険者の負担軽減措置を講じていきたい。地域包括支援センターは、分かりやすい名称への変更を検討

中。更なる職員の増員や地域割りについて、制度改正や高齢者の実態・近隣の状況を注視ながら対応していく。

**障害支援区分とは**

**鈴木啓太郎議員**

**問** 障害福祉サービスの提供にあたって、障害程度区分が障害支援区分に改正されたが、どんな影響があるのか。

**答** 改正によって、知的障がいや精神障がいの方のニーズに応じた支援がより反映できるようになった。今後は、サービス利用の際に行う利用計画相談が重要となる。

子どもをより育て

**子ども・子育て支援新制度**

**山田敏夫議員**

**問** 子ども・子育て支援新制度と市の対策について。

**答** 今年度中に子ども・

子育て支援事業計画を策定し、来年4月からの地域型保育事業の創設により保育の受け入れ枠の拡大など、新制度が実施されるのでPRに努めていきたい。

**未就学児の療育支援**

**伊藤初美議員**

**問** 本市の3か年実施計画で、富士見市立みずほ学園と同規模の施設を。

育所3園の開園を予定している。

**答** (仮称) 児童発育発達支援センター開設後、利用実績を見ながら施設の拡大等が必要か検討していきたい。

**ベビシッター事業の認証制度を**

**新井光男議員**

**問** 公的な認証制度の導入、利用者への情報提供と市民相談体制の確立を。

**答** 平成27年4月からの子ども・子育て支援新制度において、定員5名以下の家庭的保育事業など、認可基準や設備・運営に関する基準が定められるので、補助金などを受けてベビシッター事業を実施する場合、これらの基準に従うことになる。

**子育て世代交流の場の確保**

**伊藤初美議員**

**問** 子育て世代の交流の場として、学校開放事業を活用できないか。

**答** 学校教育上支障がないように調整が必要である

り、実施場所等について関係する課と連携を図りながら検討する。

**小中学校で土曜授業の実施を**

**仙田 定議員**

**問** 法改正により市教育委員会の判断で土曜授業が可能になったが、本市としての土曜授業実施の考え方は。

**答** 今後の取り組みとして、希望者を対象に現在は夏休みに実施している寺子屋学習を土曜日にも拡充する検討を行う。一方、地域に開かれ、地域とともに歩んでいく学校づくりの一環として、児童生徒が全員参加する課業日としての土曜授業の実施に向けて検討を行う。

**放課後児童クラブを学校内に**

**伊藤美枝子議員**

**問** 福岡・第2福岡放課後児童クラブの老朽化と交通安全対策に配慮し、福岡小学校の敷地内への計画を。



「ふじみ野寺子屋」で勉強中の児童

**答** 交通安全上の応急的対策は、児童クラブ登降室時に指導員が横断歩道に立ち事故防止策を講じている。施設の老朽化も進んでおり、建替え・移設は重要な課題である。今後、子どもたちの安全第一を考え協議を進める。

**放課後児童クラブの充実を**

**伊藤初美議員**

**問** 子ども・子育て支援新制度移行にあたっての市の考え方は。

**答** 今後、建替えを行う場合は、新基準に適用する設計で、既存の施設は1クラス40名で運営していく計画を検討している。指導員の配置基準は、40名の児童に対して2名以上の指導員を配置し、現在の水準を引き継いでいきたい。

**学校と保護者との信頼関係を**

**五十嵐正明議員**

**問** 学校における諸問題の根本的解決は、保護者と教師の相互理解が深ま

るようお互いに努力することであるが、現状と課題については。

**答** 一部の保護者の過度な苦情等に対する対応について、各学校が、報告・連絡・相談体制を整え、管理職を中心とした組織的な対応を行うとともに、教育委員会と連携して問題の対応にあたるようにする。さらに、PTAや地域との懇談会も積極的に活用して、学校と保護者、地域の相互理解を図っていく。教育委員会として、各学校が保護者や地域との信頼関係を築き、安心してより豊かな教育活動ができるよう支援していく。

**いじめの早期発見**

**谷 新一議員**

**問** 小中学校に「学校いじめ防止基本方針」が策定されたが、仮に、いじめが起きた場合の早期発見のための環境整備は。

**答** 児童・生徒、支援員、教職員、保護者、地域住

民などの多様な立場からの情報を共有し合い、子どもたちを見守り、小さな変化も見逃さずに早期発見、早期対応をしていく。

**ネットトラブルの未然防止を**

**小林憲人議員**

**問** 子どもたちのSNS利用に関する事件や事故が増えている。安全利用の啓発やガイドラインの作成を。

**答** ネットトラブルを未然に防げるように、各学校がガイドラインを作成し、判断力を育てていく。また、教材開発を行い、市内全校共通で指導を進める。

**保育士定着促進策**

**塚越洋一議員**

**問** 民間保育所の保育士定着促進策を。

**答** 県の「安心子ども基金」からの補助金を今年度も引き続き活用し、保育士等の処遇改善を図っていく。

編集委員が  
インタビュー!

表紙：働く人シリーズに寄せて

## おもちゃ作りの現場で伺いました

Q 木のおもちゃ工房を始めたきっかけは？

A おもちゃのデザインの仕事をしていたのですが、子どもたちとの距離が遠く、もっと身近で仕事がしたいという思いがありました。そんな折、自分で作って自分で売る「木のおもちゃの展示会」を見て、思い立ちました。

Q 木材や塗料へのこだわりはありますか？

A プナやウォールナットなどで、重すぎず軽すぎず、堅すぎず柔らかすぎず、自然の色合いを感じるものを選んでいきます。塗料は、自然の植物油をベースにした、なめても安全な無公害塗料を使用しています。

Q 木のおもちゃ作りにかける思いは？

A 木が生きていることを大切にしています。日本の伝統技術や文化をおもちゃの中に取り入れ、木ならではのおもしろさを伝えていき、「誰かと誰かをつなぐ」ことができればと思っています。

ご協力いただいた木のおもちゃ工房  
左から、製作担当：香田 進さん デザイナー：香田 佳子さん

Q うれしいと思う瞬間はどのようなときですか？

A 展示会をしているときに、子どもたちが喜んで遊んでいる姿を見るとうれしくなります。

議会だよりは、ふじみ野市のホームページからも閲覧できます。  
市議会の議事録も見られます。<http://www.city.fujimino.saitama.jp/assembly/>

6月定例会の傍聴者は116人でした。

傍聴をお待ちしています

次の定例会の  
開 会 予 定：9月1日 午前 9:30～

請願締め切り予定：8月22日 午前 10:00

## 議会広報常任委員会

委員長	田村 法子	副委員長	小林 憲人
委員	島田 典朗	委員	鈴木啓太郎
委員	仙田 定	委員	伊藤 初美
委員	五十嵐正明		

表紙の題字を書いてくれた人  
大井中3年 仲 広海さん

ふじみ野



横書きで書くのは初めてだったので、文字の大きさやバランスが難しかったです。いい経験になりました。

## 編集後記

1192年「いい国」とされていた鎌倉幕府の成立が1185年「いい箱」かどうか検証されたい。▶いい国を作るには箱ものが大事ということか？公共施設の適正配置計画にも通じまいか。全国には1万2251件の取り壊さなければならない公共施設があるという。取り壊すには約4000億円かかる。▶今議会、エコパの開設にあたっての緊急質問が行われた。緊急質問は、議員12年目にして初めての経験であった。また、「自治基本条例」が4人退席のもと、起立総員で可決となった。▶条文で『市民の責務』をうたっているが、義務ではない。市民が「要望団体」や「請願団体」となるだけでなく、「政策市民」となることを期待したい。それが健全財政にもつながり、持続可能な市となる近道に違いない。  
(田村法子)

市議会議員による時候のあいさつ状、寄附行為等は、法律で禁止されております。ご理解をお願いします。